

評価シート（年度評価）

名古屋市演劇練習館の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市演劇練習館の管理		
評価対象期間	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月

2 評価結果

評価項目			評価 区分	特記事項
1 施設 利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員 体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持 管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サ- ビ- ス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	○	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・P R の実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・ 要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応でき ているか。	○	
5 経 費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
演劇中心の内容だった「アクテノン通信」について、演劇だけでなく舞踊、音楽等の舞台芸術を対象に取り上げ、演劇以外での利用者に幅広くPRしている点が評価できる。 主催事業「りすん」は、名古屋市千種文化小劇場、三重県文化会館及び高知県立県民文化ホールと連携して開催した。演劇練習館は、オーディション会場及び練習会場として利用され、施設の特性を活かした連携が評価できる。

施設の現状

演劇練習館

施設の現状	施設概要							
	演劇その他の舞台芸術の練習の場を市民に提供することにより、芸術文化の振興に寄与するために設置された施設です。具体的には、リハーサル室や練習等施設の貸出や、子ども向けワークショップや演劇情報の提供等の主催事業を行っています。							
	市の収支状況(千円)（5年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	47,392	1,950	49,342	0	216	49,126	49,342	13,260
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用率(全室の平均)		%	89.5	95.7	97.5	98.6	
	収支率		%	17.1	21.8	23.9	23.1	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市演劇練習館における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団					
主な業務内容	名古屋市演劇練習館の管理					
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月			

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	・全室平均単位数利用率 86.2% で、開館以来最高値を達成。(H30) ・利用率 99.2% (1 月末時点) で、計画値と同等、対前年度比 1.8 ポイント増 (R1)
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							
(1) 利用実績	◎	◎	—	—	—	○	
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	
(4) 広報・P R の実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	新規利用促進のため、Google ストリートビューを活用し、インターネット上で施設の設備を見られるように改善を行ったところ、今年度も全室平均利用率 99.6%と非常に高い利用率を維持した。また、全室平均単位数利用率は 86.2%で、開館以来最高値となった。 施設事業では、長年にわたって「機関紙アクテノン」と「プチ・アクテノン」を発行してきた情報の蓄積や演劇団体とのネットワークを活用して、名古屋の演劇団体の活動状況や団体紹介をまとめたウェブアーカイブ「名古屋演劇データベース」を新たに作成し、演劇情報の保存・集約・発信を行った。
令和元 年度	施設案内や利用料金を示したパンフレットを使って営業活動を実施したり、SNS 等で施設の空き情報を発信するなどの取り組みの結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の 1 月末時点での利用率は、全室平均利用率 99.2%と非常に高い水準を達成した。 施設を利用する団体の総合的な発表会であるアクテノン・フェスティバルは、日頃の練習の成果を発表する場としてだけでなく、地域住民が演劇練習館を知り文化芸術に触れるきっかけとしても機能している。参加団体数が過去最高となり様々なジャンルの団体が出演したため、来場者満足度も高く、文化芸術の発信拠点としての役割を果たしているといえる。
令和 2 年度	貸出し時間の間ごとに、室内の換気、消毒等、安心・安全に利用していただく取り組みを実施。 施設を利用する団体や近隣の学生の総合的な発表会である「アクテノン・フェスティバル」の代替策として動画収録し、配信を行った。事業計画時の来場者数を大きく上回る視聴数となり、練習成果発表の機会の創出のみならず、演劇練習館アクテノンの魅力発信をするよいきっかけとなった。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	主催事業において、ワークショップ形式の事業については映像による配信、「アクテノン・フェスティバル」では野外での無観客発表後、発表風景を公式YouTubeで掲載、「アクテノン参観日」では事前予約制で実施など、利用者の安心・安全を確保しつつ、施設の管理・運営を行ってきた点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

令和4年度	感染症対策を取りながら、「アクテノン・フェスティバル」を3年ぶりに有観客で実施し、ダイジェスト版をYouTubeで配信した。また、「アクテノン参観日」ではパフォーマンス体験やアートバルーン作成などのワークショップを実施し、普段は演劇練習館に訪れることのない方々に足を運んでもらう機会を創出した点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和5年度	演劇中心の内容だった「アクテノン通信」について、演劇だけでなく舞踊、音楽等の舞台芸術を対象に取り上げ、演劇以外での利用者に幅広くPRしている点が評価できる。 主催事業「りすん」は、名古屋市千種文化小劇場、三重県文化会館及び高知県立県民文化ホールと連携して開催した。演劇練習館は、オーディション会場及び練習会場として利用され、施設の特性を活かした連携が評価できる。

3 利用状況等

具体的な取組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度には大きく利用率を下げる結果となったが、感染症流行以前は、平成30年度に全室平均単位数利用率が過去最高値を記録する等、非常に高い利用率を維持していた。

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
例年野外で観客を集めて開催している「アクテノン・フェスティバル」を、感染症対策でYouTube配信を行うなど、柔軟に主催事業を開催していた点が評価できる。